

NEWS LETTER



横浜災害ボランティアネットワーク会議

編集・発行：横浜災害ボランティアネットワーク会議

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター8階

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会内

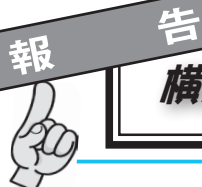
TEL 045-201-8620 FAX 045-201-1620

H P : <http://www.yokohama-saigai-vol-net.jp/archives/716>

E-mail: saivol@yokohama-saigai-vol-net.jp



2017年10月発行 No.58



横浜災害ボランティアネットワーク会議 平成29年度 総会

【第一部：会員向け研修会】

テーマ：『災害時における女性や子ども等要支援者のボランティアニーズとは』

講師：国崎 信江氏（危機管理教育研究所 危機管理アドバイザー） 参加者：64名

講師の国崎さんは、平成28年4月に起きた熊本地震において、発災直後から熊本県益城町で支援活動開始しました。益城町防災アドバイザーに就任し、避難所の運営支援や環境改善、保育園や幼稚園の早期再開支援を行いました。

保育園や幼稚園が早期に再開することで、仕事に早く復帰できる女性職員が増えること、園などの施設の復旧は室内の片付け等力仕事でもあり、災害ボランティア

センターに依頼するのは地域住民という認識も手伝って、ニーズを発信できない施設が多いため、災害ボランティアセンターから声を掛けることも大切、というお話をいただきました。また、避難所でのトイレの設置の工夫が必要など犯罪に巻き込まれやすい女性や子ども目線で考えていくヒントをいただきました。



また、横浜という大都市での被災は県外からのボランティアも多くなることが予想されるため、横浜らしく制度などを十分に活用し、地域住民と一緒に協力しながら、乗り切っていく横浜スタイルを作り上げていくことが必要ではないかとアドバイスがあり、1時間という短い時間でしたが、今後の課題を改めて見直す必要を感じました。



講師：国崎 信江 氏

【第二部：総 会】

横浜災害ボランティアネットワーク会議の『総会』が、上記研修会終了後、開催されました。

日時：平成29年6月15日（木） 19:40～20:35

場所：横浜市健康福祉総合センター8階 大会議室 AB

参加：出席 35組、委任状 28組

内容：平成28年度事業報告 / 平成29年度以降の基本方針および事業計画など

状況：議事にそって進行し、全て承認されました



29年度計画の主な事業

- ・支援者向け災害ボランティアコーディネートスキルアップ研修の開催
- ・会員向け研修会
- ・災害ボランティアセンター図上シミュレーション・市災ボラ支援センター立ち上げシミュレーション
- ・区災害ボランティアネットワーク連絡会（全区対象の連絡会及びブロック別連絡会等）



活動紹介

横浜災害ボランティアネットワーク会議 会員紹介

横浜災害ボランティアネットワーク会議には平成 29 年 8 月現在 82 団体 12 個人の会員が加入しています。今年度に入り新たに加入いただいた「認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク」を含め 4 団体の会員の活動紹介をさせていただきます。

公益社団法人 横浜市身体障害者団体連合会

横浜市身体障害者団体連合会は、昭和 26 年に発足した横浜市身体障害者福祉協会をその前身として、昭和 60 年に社団法人横浜市身体障害者団体連合会に改称、平成 25 年には公益社団法人に移行しました。連合会には肢体・視覚・聴覚・内部障害に関係する 10 団体が加盟し、身体障害者の自立と社会参加を目指して、外出支援やスポーツ・レクリエーション事業、共生社会づくりに向けた啓発など各種の活動を行っています。



第 32 回横浜市身体障害者運動会の様子

災害時の支援体制については、障害者にとっても大きな課題となっています。

発災時の避難支援、避難生活でのバリアフリー環境やコミュニケーション・情報支援など、障害の特性に応じた対応にも不安を感じています。当団体が事務局となっている障害者社会参加推進センターでは、本年 3 月に「横浜市障害者団体災害対策指針」を作成、災害に備えた自助・共助の取組み事項をまとめ、知的障害や精神障害の団体とも共有を図ったところです。地域に住む障害者や高齢者等の災害時に手助けが必要な方への支援に、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



H28 福祉のつどいアトラクションの様子

横浜栄・防災ボランティアネットワーク



設立 10 周年記念研修会 (2016. 12. 10)

平成 16 年 10 月の台風 22 号は区内に大きな水害をもたらし、社協のボランティア部会で急遽召集をかけて集合した約 30 名のボランティアが即被災現場に入り、その後数か月に亘って活動しました。このことが契機になり勉強会を経て「栄・防災ボラネット」(略称)は平成 18 年 10 月に設立されました。

「防災」のネーミングの通り、防災力向上を目指すため、ボランティア団体・福祉施設・当事者団体・自治会などを含む 32 団体と 39 名の個人が参加し、平時には研修会・勉強会や、防災講座などの活動を行っていますが、特に要援護者への支援を丁寧に行っています。

また、第一の目的である災害時に設置される「災害ボランティアセンター」の開設・運営に協力するための訓練も毎年様々な切り口で取り組んでいます。地域防災拠点や自治会との連携は、災害時ではもとより平時の防災力向上に欠かせません。今後も活動を通して一步一步進めていきたいと考えています。



ホームページはこちら→



第 11 回災害ボランティアセンター開設運営訓練 (栄図書館 2017. 2. 20)

都筑区災害ボランティアネットワーク

都筑区災害ボランティアネットワークは、平成 21 年度から「災害ボランティアセンターコーディネーター会議」として活動を始め、平成 27 年度に災害ボランティアネットワークとして団体化しました。今年度は、①会員のコーディネーション力のスキルアップ、②地域防災拠点との連携強化、③会員数の拡大を年度目標とし、自治会町内会や地域防災拠点関係者、ボランティア等の活動者 30 名あまりのメンバーで活動しています。

主な取組としては、年数回の定例会、防災関係団体及び公共機関等と連携し区民への防災啓発を行う『つづき防災フェア』、災害ボランティアコーディネーターの育成を目的とした『つづき防災セミナー』、そして、災害ボランティアコーディネートスキルアップ、及び災害ボランティアセンターのPRを目的とした『災害ボランティアセンターのシミュレーション訓練』などを開催している他、災害時の情報伝達を想定した地域防災拠点訓練への協力も行っています。

今年度の主な活動予定

①『つづき防災セミナー』

日時：平成 29 年 10 月 28 日（土）13：30～16：00

内容：講演：「阪神淡路大震災を乗り越えて人々を救った人の心」

講師：元神戸市立鷹取中学校 校長 近藤 豊宣 様

パネディスカッション「災害時における都筑区内の防災減災を考える」

②『災害ボランティアセンターシミュレーション訓練』

日時：平成 29 年 11 月 25 日（土）14：00～16：30

内容：災害ボランティアセンターの紹介、災害ボランティアコーディネートの体験

※会場はいずれも「かけはし都筑（都筑区荏田東 4-10-3 港北ニュータウンまちづくり館内）」

※内容は変更になることがあります。



防災フェアの様子



都筑区災害ボランティアネットワークでは、災害時に災害ボランティアのコーディネート活動をするメンバーを募集しています。関心をお持ちいただいた方は、定例会や各種イベントへの参加をお願いいたします。

H28 シミュレーション訓練

今年度新しく加入いただいた、団体の紹介です。

認定 NPO 法人 かながわ 311 ネットワーク

ホームページはこちら→



今年度より仲間入りさせていただきました。東日本大震災のボランティア活動で知り合った仲間です。平成 25 年度法人化、平成 28 年に認定資格を取得しました。東日本大震災での活動経験を生かし、災害被災地の緊急支援活動、防災教育事業に取り組むとともに、被災地復興応援活動も行っています。

東北支援の際に、「神奈川にも大きな災害が必ずくるから、しっかり備えておきなさい」と多くの方から言われました。これが私たちの活動の原点です。過去の災害に学び、未来にどう生かすのか。教員経験のあるメンバーが中心となり、「自分のいのちを自分で守ることができる子どもを育てるために」主に学校での防災教育に取り組んでいます。「防災教育ファシリテーター」として、地域特性と学校事情を理解し、防災の知識をあわせ持つ人材育成も行っています。今年度は横浜市教育委員会から「横浜市安全担当教員研修」をご依頼いただきました。その他各所からお声掛けいただき、イベント等にも出展しています。詳しくは当団体ホームページをご覧ください。



防災教育ファシリテーター養成講座「DIG」の様子



教員向け研修会の様子

報

告

区災害ボランティアネットワーク ブロック別連絡会

市内を4つのブロックに分けて、災害時の相互連携に向けた日常的な関係づくりを目的として、平成25年度より区災害ボランティアネットワークブロック別連絡会を継続的に実施しています。

<ブロックについて>

Aブロック：鶴見・神奈川・西・中・南

Bブロック：港南・磯子・金沢・戸塚・栄

Cブロック：保土ヶ谷・旭・泉・瀬谷

Dブロック：港北・緑・青葉・都筑

<内容>

- ・各区の取り組み状況の共有
- ・ブロック内での相互支援を目指したDIGの実施
- ・情報伝達訓練
- ・災害ボランティアセンター運営マニュアルの共有などブロックの状況に合わせた内容

<助成金について>

平成29年度より、ブロックごとの研修等に対して活動費の助成（年間上限3万円）を行います。

申請方法等につきましては、事務局にお問合せ下さい。



ブロックで行った図上訓練の様子

私達と一緒に取り組みませんか 会員募集中

「いざ」に備えて顔の見えるネットワークづくりにご参加ください！



横浜災害ボランティアネットワーク会議とは！？

横浜災害ボランティアネットワーク会議は阪神淡路大震災での教訓をもとに、横浜でも災害時に備えて平時からのボランティア団体間の相互交流をはかっていこうと、1996年5月18日に設立しました。現在横浜市内で活動をしている82のボランティア団体・組織・グループと、12人の個人会員が加盟しています。ネットワーク会議では、シンポジウムや災害時の情報伝達シミュレーションやコーディネーター養成講座、広報活動を展開し、啓発的な活動をすすめていくと共に、行政と連携した復興救援活動についても具体的な方策をまとめていくことにします。



活動内容

- 交流と情報交換
- 災害に備えたシミュレーション訓練
- 災害ボランティアコーディネーターの養成
- 災害情報等の収集・提供 各機関との連携



H28 市域で行った図上シミュレーション訓練

詳しくは、

「横浜災害ボランティアネットワーク」で検索！